

だんまりちゃん

さく・え さはら しおり



だんまりちゃん

さく・え さはら しおり



だんまり おくちの おんなのこ
おんなのこは びょういんが だいきらい

まえに びょういんに いったときのこと
きこえてきた だれかの なきごえ
つられて おもわず ないちゃった
なみだで まえが みえません



おおきな おおきな しろいかげが
ぼんやり のっそり みえたと おもったら
うでが ちくりと いたみだし
こわくて ただただ なきました

そんなことが あったから おんなのこは きめたのです

「びょーいん きらい もういかない！」

けがをしても びょうきになっても ぜったいに いわない
“だんまりちゃん” に なってしまいました



あるひのあさ めをさますと
あたまは ズキズキ おかおは あつい
ゴホゴホ せきも とまらない・・・

きっと これは おかぜだと
だんまりちゃんは おもいました



「やだ！ びょーいん いかないもん」



「まっかな おかおが
みえなければ いいんだ」



「ゴホゴホ おせきが
きこえなければ いいんだ」



「まーくん
ぜったい いっちゃだめ」



おきてきた だんまりちゃんを みて
おかあさんと おとうさんは びっくり

おかあさんの おおきな ぼうしに
おとうさんの ながーい マフラー
おかあが まったく みえません



「あらあら こりゃまあ どうしたの？」



「かわいい おかおが みえないよ」



おかあさんに なにを いわれても
だんまりちゃんは だんまり だんまり

「ほらほら こっちを みてごらん」



「おぼうし とったら たべようね」



おとうさんに なにを いわれても
だんまりちゃんは だんまり だんまり

おかあさんと おとうさんは もう おてあげ
どうしたものか とおもった そのとき・・・！



「は・・・は・・・」

はっくしょん!!



だんまりちゃんのおおきな くしゃみで
おかあさんと おとうさんは きづきました
「あ！おかぜを ひいていたのね」

「やだやだ！　びょーいん　いかないもん！」

おうちを　とびだした　だんまりちゃん
まちのなかの　あっちや　こっち
せきは　ゴホゴホ　いきは　ゼエゼエ
おかおは　まるで　ポストみたい

それでも　ぜったいに　とまらない
ずっと　ずっと　かけてゆきます



あっちや こっちに だんまりちゃん
したを むいてて きづかずに
すーっと どこかに かけこんで



とすんと だれかに ぶつかりました





「おじょうちゃん だいじょうぶ？
あらら おかおが まっかじゃない」

やさしい こえの そのひとは
だんまりちゃんの おでこを さわりました

「くるしかったね げんきになろうね」

やさしい やさしい そのひとは だんまりちゃんを
だっこして たてものの なかに はいっていきました



「こんにちは よろしくね」

そこは びょういん だったのです



でも まえみたいに こわくない
まえは なみだで みえなかったけれど
きょうは ぜんぶ みえているから



おもちゃを もった おいしゃさんと かんごしさん
そばには おかあさんと おとうさんも います
そこは やさしい ばしょでした



おくすりを のんで まっかな おかおが もとどおり

かえりみちで おかあさんは いいました

「きょうは びょういんで えらかったね」

すると おとうさんも いいました

「げんきになって うれしいよ」

「ママとパパ にここにこ・・・うれしいな」



げんきになった おんなのこ
もう だんまりちゃんには なりません

